

# 町民植樹祭に新しい風



盛り上がった森林クイズ

Q、日本の森は、自然に生えている森（天然林）と人が育てた森（人工林）のどちらが多いでしょうか？

これは6月8日に行われた町民植樹祭のクイズ企画で出題した問題です。

小清水町、網走地区森林組合、網走南部森林管理署の3団体により共同開催された本イベントには、幅広い世代の方々が参加してくれました。

その中でも、新しい試みとして行われたのが子供向けの「森林クイズ」。網走南部森林管理署内に新設されたチーム「もりのめ」が主導で行いました。木を植えるという体験だけでなく、木を植

えて育てることなど、んな意味があるのか、学びの要素を加えたという思いから計画された本企画。



第1号  
2024/6/28発行

網走南部  
森林管理署



子供たちの積極的な参加により大盛況でした。

冒頭の問題はそんなクイズ企画の中のひとつ

正解は「天然林」です。日本の森は人工林が約4割、天然林が約6割となっています。北海道においては天然林が8割を占めています。こういった絶妙に難しい問題は周りで見ている大人の方々も一緒に考えてみてください。森の様子で、みんなが森の知識を深められました。

もりのめってなあに？

「もりのめ」は、小清水町及びその近隣地域を中心に、ふれあい活動等を通じて森林・林業の普及啓発をはかる組織です。網走南部森林管理署の有志によって運営されています。

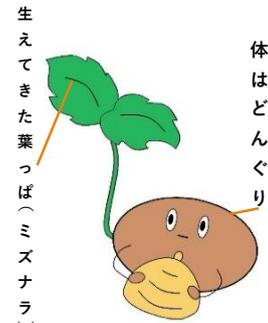
「もりのめ」の「め」には、将来の森づくりにつながる興味関心の「芽」と、多様な視点から森林管理を考える「視

（め）」の意味が込められています。発足したばかりの組織ですが、今年度は小学校の放課後児童クラブへの訪問企画等を実施する予定です。ゆくゆくは、小学生から大人まで幅広い世代を対象として、木工クラフト、パネル展示、職場見学など、さまざまなイベントを企画していきます。

イベントの参加者については、将来の森を守る者として、「森のヒーロー」に認定します!!

4コママンガ

きになごちやまめくん



もりのめ非公認キャラクター  
ちやまめくん  
実は体はどんぐり

